

七年六月

文政三年二月十日  
御建太夫山事申候 甚八

仁良物認り免状  
年々否と云ふ人

日年十一月

八市村のりん免 西中

割りん松 大尾

他認り八市村のりん免

社屋あり松林  
八市村のりん

社屋あり松林  
八市村のりん

八市村のりん 新立

八市村のりん 免状  
年々否と云ふ人

文久四年

二月廿五日

新館

Handwritten notes in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.

七十六

文久三亥正月十一日

百姓

一御建犬戾鳴ル山番申談

甚八

但良助歎二付免代り

已来善六与式人

御建 御建山。材木  
保護のために伐採  
や狩猟を禁じた山

七十七

同年十一月朔日

割庄屋

一八木村当分庄屋御差免

正三郎

同日

一割庄屋格被仰付

社倉支配役同格  
八木村庄屋

忠左衛門

但歎二付、八木村庄屋差免

同日

一八木村庄屋被仰付

社倉支配役同格  
八木村庄屋

忠左衛門

但覺書卷人庄屋二被為仰付候事

新兵衛

文久四子年分

二月廿一日より元治与改元

新帖出来二付、外帖二記ス